

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」				
芸術学部教育目標			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。				
美術学科国際芸術文化専攻 教育目標・人材の養成に関する目的			国際芸術文化専攻では国内外の文化理解授業、文献研究、実験や研修などの体験を通して、芸術と人間・社会とのかかわりを理論的に研究し、またディスカッション等の方法論も学び、多様性社会において芸術を通して人間・社会に広く貢献できる人材、国際的教養人の育成を教育目標とする。				
学科専門科目 (学科共通科目／専攻・領域専門科目)			芸術学部のディプロマポリシー				
科目 区分	年次	授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組む素養を身に付けたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーション・スキルやプレゼンテーション能力を身に付けたか。 「技能・表現」
			美術学科のディプロマポリシー				
			美術全般の素材や表現技能、文化や伝統、歴史に関する知識を身に付け理解し、自身の制作や研究を深めるとともに、美術の教育や普及、社会に貢献できる力を身に付けている。	作品や論文制作における課題やテーマを探索し、制作、研究を通して生涯にわたって成長していける能力と態度を身に付けている。 美術活動全体を認識し、自らの専門だけでなく周辺領域の技術と理論を積極的に学び制作や研究に活かす態度と能力を身に付けている。	理論研究による知識を自己の表現と結びつけられる論理性と洞察力をもとに自分の目指す表現方法を確立する能力を身に付けている。 国際的な視点、社会問題や時代変化に関心をもち、様々な問題に対して美術の知識や技能を活かして解決に取り組む姿勢と論理的に解決策を構想し、発信する能力を身に付けている。	自身の発想を独自性のある表現の域にまで高めて作品制作、研究を行うことができる技術、表現力を身に付けている。 美術活動全体を認識し、自らの専門だけでなく周辺領域の技術と理論を積極的に学び制作や研究に活かす態度と能力を身に付けている。	
			【知識・理解】 (教養力・専門性)	【関心・意欲・態度】 (主体性・積極性)	【思考・判断】 (論理性・想像力・洞察力・社会性・発信力)	【技能・表現】 (創造力・独創性・対話力)	
学科共通	必修	講義	西洋美術史概説	○		◎	
	必修	講義	日本美術史概説	○		◎	
	必修	講義	東洋美術史概説	○		◎	
	選択	実技	美術学科オープン実技A(油彩画)		◎		◎
	選択	実技	美術学科オープン実技A(グループワーク)		◎		◎
	選択	実技	美術学科オープン実技A(リトグラフ)		◎		◎
	選択	実技	美術学科オープン実技A(日本画)		◎		◎
	選択	実技	美術学科オープン実技A(彫塑)		◎		◎
	選択	実技	美術学科オープン実技A(立体)		◎		◎
	選択	演習	美術学科オープン演習A(素描(基礎)1)		◎	○	◎
	選択	演習	美術学科オープン演習A(素描(基礎)2)		◎	○	◎
	選択	演習	美術学科オープン演習A(プリント)		◎		◎
	選択	演習	美術学科オープン演習A(日本画)		◎		◎
	選択	演習	美術学科オープン演習A(織維)		◎	○	◎
	選択	演習	美術学科オープン演習A(CGa)		◎		◎
	選択	演習	美術学科オープン演習A(編集・デザイン)		◎		◎
	選択	演習	美術学科オープン演習A(メディア)		◎		◎
	選択	演習	美術学科オープン演習A(英語でつくる1)		◎		◎
	選択	講義	絵画素材論A		◎	○	○
	選択	講義	絵画素材論B	◎		○	○
専攻・領域専門	必修	講義	芸術文化基礎 I A	◎		○	○
	必修	講義	芸術文化基礎 I B	◎		○	○
	必修	講義	多文化理解基礎 I	◎		○	○
	必修	演習	グローバルコミュニケーション I	○	◎		◎
	必修	講義	海外芸術研修 I A	○	◎		◎
	必修	演習	海外芸術研修 I B	○	◎		◎
	必修	講義	日本文化研修A	◎		○	○
	選択必修	講義	デザイン・工芸論A	◎		○	○
	選択必修	講義	デザイン・工芸論B	◎		○	○
学科共通	必修	講義	美術で生きる		◎		
	選択必修	演習	アートプラクティス I		◎	◎	◎
	選択必修	演習	アートプラクティス II		◎	◎	◎
	選択必修	講義	アート・アクティビティ		◎	◎	◎
	選択必修	講義	色彩文化概論	◎		○	○
	選択必修	講義	配色調和論	◎		○	○
	選択必修	講義	視覚心理学	◎		○	○
	選択必修	講義	カラーキャリア I	◎		○	○
	選択必修	講義	カラーキャリア II	◎		○	○
	選択必修	講義	文化資源学	◎		○	○
	選択必修	講義	ヴィジュアルスタディーズA	◎		○	○
	選択必修	講義	ヴィジュアルスタディーズB	◎		○	○
	選択必修	講義	デザイン批評A	◎		○	○
	選択必修	講義	デザイン批評B	◎		○	○
	選択必修	講義	芸術人類学	◎		○	○
	選択必修	講義	芸術民俗学	◎		○	○
	選択必修	講義	芸術政策と法	◎		○	○
	選択必修	講義	創作活動と法	◎		○	○
	選択	実技	美術学科オープン実技B(油彩画)		◎		◎
	選択	実技	美術学科オープン実技B(古典技法)		◎		◎
選択	実技	美術学科オープン実技B(インスタレーション)		◎		◎	
選択	実技	美術学科オープン実技B(銅版画)		◎		◎	
選択	実技	美術学科オープン実技B(日本画)		◎		◎	

建学の精神			「芸術による女性の自立」「女性の社会的地位の向上」「専門の技術家・美術教師の養成」				
芸術学部			芸術との感動的出会いを積み重ね、創造の喜びを培い、社会の流れを先取りする芸術的感性と、広い視野、柔軟な思考力、確かな技術を持ち、時代を超えた美を追求する、個性豊かな人材や専門家の育成を教育目標とする。				
美術学科国際芸術文化専攻 教育目標・人材の養成に関する目的			国際芸術文化専攻では国内外の文化理解授業、文献研究、実験や研修などの体験を通して、芸術と人間・社会とのかかわりを理論的に研究し、またディスカッション等の方法論も学び、多様性社会において芸術を通して人間・社会に広く貢献できる人材、国際的教養人の育成を教育目標とする。				
学科専門科目 (学科共通科目／専攻・領域専門科目)			芸術学部のディプロマポリシー				
科目 区分	年次	授業科目名	芸術をはじめ、広く、人文、社会、自然科学に関する知識を習得することができたか。 「知識・理解」	課題やテーマに対して主体的、計画的に取り組む姿勢、生涯を通じて学び、創作や研究に取り組みを身に付けてきたか。 「関心・意欲・態度」	課題やテーマに対して、的確な情報収集や分析、論理的思考ができたか。 「思考・判断」	芸術分野において必要とされる技術、表現力を身に付けることができたか。 「技能・表現」	自らの創作や考えを伝えるコミュニケーションスキルやプレゼンテーション能力を身に付けてきたか。 「技能・表現」
			美術学科のディプロマポリシー				
			美術全般の素材や表現技能、文化や伝統、歴史に関する知識を身に付け理解し、自身の制作や研究を深めるとともに、美術の教育や普及、社会に貢献できる力を身に付けている。	作品や論文制作における課題やテーマを探索し、制作、研究を通して生涯にわたって成長していける能力と態度を身に付けている。 美術活動全体を認識し、自らの専門だけでなく周辺領域の技術と理論を積極的に学び制作や研究に活かす態度と能力を身に付けている。	理論研究による知識を自己の表現と結びつけられる論理性と洞察力をもとに自分の目指す表現方法を確立する能力を身に付けている。 国際的な視点、社会問題や時代変化に関心をもち、様々な問題に対して美術の知識や技能を活かして解決に取り組む姿勢と論理的に解決策を構想し、発信する能力を身に付けている。	自身の発想を独自性のある表現の域にまで高めて作品制作、研究を行うことができる技術、表現力を身に付けている。 美術活動全体を認識し、自らの専門だけでなく周辺領域の技術と理論を積極的に学び制作や研究に活かす態度と能力を身に付けている。	
			【知識・理解】 (教養力・専門性)	【関心・意欲・態度】 (主体性・積極性)	【思考・判断】 (論理性・想像力・洞察力・社会性・発信力)	【技能・表現】 (創造力・独創性・対話力)	
専攻・領域専門	選択	実技	美術学科オープン実技B(彫塑)		◎		◎
	選択	演習	美術学科オープン演習B(素描)		◎	○	◎
	選択	演習	美術学科オープン演習B(パネル制作)		◎		◎
	選択	演習	美術学科オープン演習B(紙)		◎		◎
	選択	演習	美術学科オープン演習B(日本画)		◎		◎
	選択	演習	美術学科オープン演習B(編集・デザイン)		◎		◎
	選択	演習	美術学科オープン演習B(メディア)		◎		◎
	選択	演習	美術学科オープン演習B(CG)		◎		◎
	選択	演習	美術学科オープン演習B(製本)		◎		◎
	選択	演習	美術学科オープン演習B(絵画材料)		◎		◎
	選択	演習	美術学科オープン演習B(英語でつくる2)		◎		◎
	選択	演習	2～4 芸術文化オープンゼミ I		◎	◎	◎
	選択	演習	ミュージアムエデュケーション演習	◎			
	選択	演習	2 美術教育オープンゼミA		○	◎	○
選択	実技	2 教職絵画	◎		○	○	
選択	実技	2 教職彫塑	◎		○	○	
専攻・領域専門	必修	講義	2 芸術文化基礎II A	◎		○	○
	必修	講義	2 芸術文化基礎II B	◎		○	○
	必修	講義	2 多文化理解基礎II	◎		○	○
	必修	演習	2 グローバルコミュニケーションII	○	◎		◎
	必修	講義	2 海外芸術研修II A	○	◎		◎
	必修	演習	2 海外芸術研修II B	○	◎		◎
	必修	講義	2 日本文化研修B	◎		○	○
	必修	演習	2 芸術文化ゼミI		◎	◎	◎
	選択必修	講義	2～4 印刷概論	○	○	◎	
	選択必修	講義	2～4 工芸史A(染織)	◎		○	○
選択必修	講義	2～4 工芸史B(陶ガラス)	◎		○	○	
学科共通	選択	演習	3～4 芸術文化オープンゼミII		◎	◎	◎
	選択	講義	3～4 美術教育論A	◎		◎	◎
	選択	講義	3～4 美術教育論B	◎		◎	◎
	選択	講義	3～4 アート修復基礎論	◎		◎	◎
	選択	演習	3 美術教育オープンゼミB		○	◎	○
	選択	実技	3 教職工芸	◎		○	○
	選択	実技	3 教職デザイン	◎		○	○
専攻・領域専門	必修	演習	3 グローバルコミュニケーションIII	○	◎		◎
	必修	演習	3 多文化理解演習	◎		○	○
	選択必修	演習	3 芸術文化ゼミII(西洋美術史)		◎	◎	◎
	選択必修	演習	3 芸術文化ゼミII(日本美術史)		◎	◎	◎
	選択必修	演習	3 芸術文化ゼミII(色彩学)		◎	◎	◎
	選択必修	演習	3 芸術文化ゼミII(芸術表象)		◎	◎	◎
	選択必修	演習	3 芸術文化ゼミII(芸術人類学)		◎	◎	◎
	選択必修	演習	3 芸術文化ゼミII(芸術と法)		◎	◎	◎
	選択必修	演習	3 芸術文化ゼミII(アートと表現)		◎	◎	◎
学科共通	選択	演習	4 芸術文化オープンゼミIII		◎	◎	◎
専攻・領域専門	必修	演習	4 グローバルコミュニケーションIV	○	◎		◎
	必修	演習	4 卒業制作		◎	◎	◎
	選択必修	演習	4 芸術文化ゼミIII(西洋美術史)		◎	◎	◎
	選択必修	演習	4 芸術文化ゼミIII(日本美術史)		◎	◎	◎
	選択必修	演習	4 芸術文化ゼミIII(色彩学)		◎	◎	◎
	選択必修	演習	4 芸術文化ゼミIII(芸術表象)		◎	◎	◎
	選択必修	演習	4 芸術文化ゼミIII(芸術人類学)		◎	◎	◎
	選択必修	演習	4 芸術文化ゼミIII(芸術と法)		◎	◎	◎
	選択必修	演習	4 芸術文化ゼミIII(アートと表現)		◎	◎	◎